

区民のページ

各区からのお知らせや魅力・取り組みなどを紹介します。

※人口は住民基本台帳による数(令和2年3月31日現在)。



●区役所の位置

北 区

人口：295,877人 面積：450.70km²

北区役所

〒700-8544 北区大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

今年もホタルのシーズンがやってきました ～足守 天然ホタルの里～

足守地域は市内でも有数のホタルの生息地であることから、平成4年に市の第1号認定「ホタルの里」となりました。以来、地元の人々は中洲の草刈りや桜・もみじの植栽などを行い、ホタルを育む自然環境を守り続けています。当地のホタルはゲンジもハイケも天然のホタルであるため、洪水や干害などの天候により年ごとに数の変動はありますが、5月下旬から6月上旬の20時から21時30分頃まで観賞することができます(その日の天気などで観賞できないこともあります)。

【足守地域ホタル観賞ポイント】

①大井・栗井地区

◆場所：国道429号線大井トンネル北をすぐ南に曲がったあたり

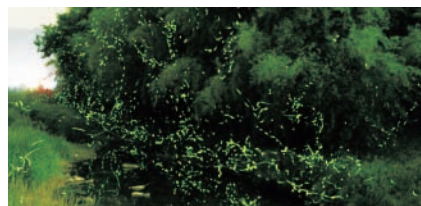
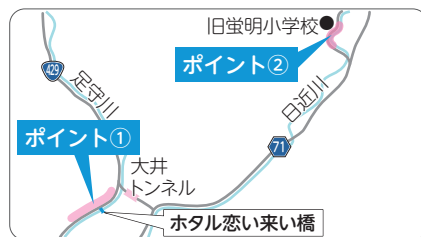


▲観賞ポイント「ホタル恋い来い橋」

②高田地区

◆場所：旧蛭明小周辺日近川沿い

観賞の際はホタルのすむ自然を守るために、ごみ箱の設置がない場所ではごみは持ち帰りましょう。警備員が誘導しているときはその指示に従い、マナーを守って観賞しましょう。



▲乱舞するホタル ※写真は「大井しいの木いきいき会」提供



●区役所の位置

中 区

人口：147,501人 面積：51.24km²

中区役所

〒703-8544 中区浜三丁目7-15

岡山港(高島地区)市民の森 ～児島湾が見渡せる公園～

岡山港(高島地区)は一般的には新岡山港と呼ばれ、中区の南端、旭川河口左岸の高島地区に位置し、旭川河口右岸の岡山港と共に岡南工業地帯の重要な拠点となっています。皆さんはその一角にある公園をご存知でしょうか。

この公園は「岡山港(高島地区)市民の森」と呼ばれ、市民のレクリエーション緑地として整備されました。敷地面積は約2.3haあり、サクラやヤマモモ、ツツジなど26種類のさまざまな樹木が植えられ、季節ごとにきれいな花を咲かせます。

また、公園の外周には遊歩道があり、堤防に向かうと眼前に広がる児島湾を見渡せ、行き交う船の眺めを楽しめます。また、堤防では釣りを楽しむこともできます。

近くには小豆島へのフェリーの旅客ターミナルもあり、フェリーの待ち時間に利用するのもよいでしょう。



これからの新緑の季節、園内を散策されてみてはいかがでしょうか。



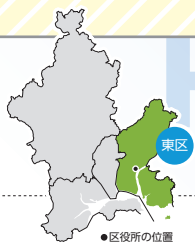
●問い合わせ

岡山県備前県民局建設部
岡山港管理事務所 ☎086-277-5096

各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表

☎086-803-1000



東区

人口：95,078人 面積：160.53km²

東区役所

〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

備前富士の愛称で親しまれる芥子山

芥子山は、JR大多羅駅から徒歩60分ほどで登れる標高233mの山です。円錐状の端正な山容で、古くから「備前富士」の愛称で親しまれ、地域のシンボルとなっています。

山頂付近まで車道が通っており、遊歩道のあるハイキングコースとし



▲山頂からの眺め

ても整備されています。山頂からの眺めはすばらしく、南には広大な備前平野や吉井川、天気の良い日は児島半島の山々や四国の連山まで望むことができます。

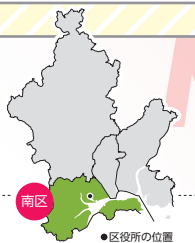
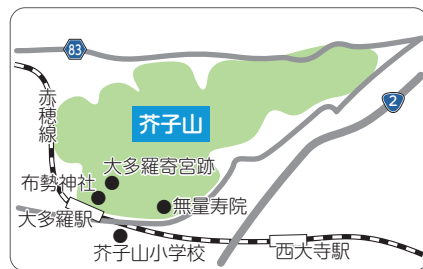
山腹には「はだか祭り」として有名な西大寺観音院の会陽に投下される宝木の原木を切り出す寺である無量寿院のほか、幕末の歌人平賀元義由縁の地である布勢神社や国指定史跡である大多羅寄宮跡など多数の名所、旧跡があります。

新緑の爽やかな季節に西大寺地域の雄大な歴史に触れながら芥子山散

策を楽しんでみてはいかがでしょうか。



▲無量寿院本堂



南区

人口：169,525人 面積：127.48km²

南区役所

〒702-8544 南区浦安南町495-5

妹尾・四ツ樋

～東西南北からの水路が交わる町～

岡山歴史のまちしるべに認定された妹尾地域にある歴史文化資産、「四ツ樋」の由来について紹介します。

四ツ樋は文政6年（1823年）頃、当時の農業用水・飲料水の不足を解消するため造られた樋門です。海岸線に沿って東から流れる用水で、大福を網目状に配水する福田用水と、



今の総社市湛井から高梁川の水を引き込み、足守川を経て妹尾本村から流れ込む十二ヶ郷用水（妹尾郷用水）の2本の用水を合流させることで、興除新田のための水量を確保していました。

その後、藤田村の三角地揚水機場から児島湖の湖水を汲み上げて合流させ、東畦から都字一番干拓地（明治10年竣工）の用水確保のために必要な水量を確保しました。

当時、妹尾・福田は備中藩、興除・藤田は備前藩であり、国境を争った歴史が漂う樋門でもありました

が、福田・妹尾・興除が互いに樋門の管理・運用することで争いをなくし複雑な用水管理を容易にしました。

現在、4基あった水門のうち3基が現代様式に改修され、当時の面影を残すのは南樋門の1基のみです。ぜひ歴史ある町、妹尾を散策してみてください。



●問い合わせ

妹尾・箕島を語る会

妹尾公民館 ☎086-282-4747